

月が金星に接近



天空が広がるうぶやまの高原は、陽が長くなり、暖かい風が吹き始め、春の訪れを感じさせます。宵の空には冬の星座が見え、それを追いかけるように春の星座が東から昇ってきます。

指針コラム (天体観・見どころ)

3月の星空情報の第1弾は3月20日(金)に月が金星(−3.9等級)に接近する天文現象です。3月になって、夕方の空に金星が姿を見せるようになりました。ただ金星の高度はまだたいへん低く、日の入りなら1時間30分もすると太陽を追って沈んでしまいます。空がまだ明るいうちに観察すると良いでしょう。

3月20日(金)、春分の日。日の入り後に、月齢1.3の細い月が金星に接近しています。月も金星も高度が低く、その上、月がたいへん細いため、接近の様子を見るには場所や時刻に注意する必要があります。西の低空が地平線近くまで見渡せる場所を探して、太陽が沈んだらなるべく早く観察を始めましょう。暗くなるにつれて金星と月がみえ始めるでしょう。金星の方が先に見つかるかもしれません。そのすぐ右側(北側)に、糸のように細い月が並んでいます。時間が経つにつれ空はさらに暗くなり金星も月も見つけやすくなります。双眼鏡を使うとずっと見つけやすくなります。

観察対象

